

青野ヶ原演習場殉職隊員の慰霊碑及び姫路海軍航空隊鶉野飛行場の祈念碑跡地整備及び慰霊行事

令和7年7月27日（日）に東播支部（支部長 石田真一）は、支部長以下27名の参加を得て、青野ヶ原演習場（兵庫県加西市）の南廠舎近傍にある殉職隊員慰霊碑及び同演習場内東トーチカ地域にある殉職隊員慰霊碑の清掃活動と慰霊行事を行いました。

慰霊碑周りの整備を黙々と行う会員達

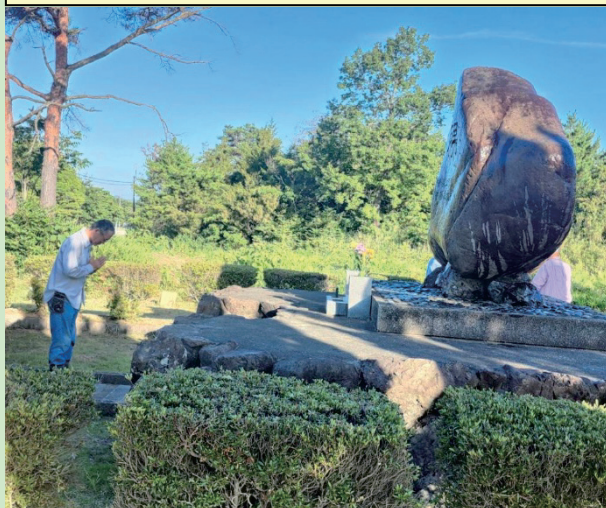


今年も気温35度という猛暑の中、参加者の中には80歳を超える方もおり、夏場に行く作業として頻繁な休憩・水分補給を行う等細心の注意をはらって行事を実施しました。作業は午前5時過ぎには草刈り機を所有している会員が気温の低い中で迅速に除草作業を行い、5時半頃に到着した会員は刈った草を集めて捨てる作業や、慰霊碑を囲む垣根の剪定を行い、朝7時前には作業を終了しました。

終了後には準備したお花を供え、線香を焚いてそれぞれの会員が慰霊を行いました。

また、本年度兵庫県隊友会会長表彰受賞者の山崎和幸会員に対して石田支部長から表彰状の伝達をして頂きました。

殉職された隊員への慰霊



山崎 和幸 会員 表彰状贈呈



慰霊碑清掃終了後の集合写真



青野原演習場南廠舎を後にした会員は、加西市鶉野町にある姫路海軍航空隊鶉野飛行場跡地（現材の名称：s o r a かさい）に移動

し、海軍航空隊員の祈念碑跡地（現在は場所移動している）の除草、藤棚の整備、刈草の運搬等の支援を行いました。

特に、今年は7～8年は手を付けていない藤棚の上の枝を剪定して作業を終了しました。

藤棚 伐採前



藤棚 伐採後



作業終了に合わせて、保存会会長から清掃作業に対するお礼、今年の「s o r a かさい」で行う行事のP R説明を述べられ、少しでも関心を持っていただきたいと述べられました。

保存会会長からお礼を受ける会員達



清掃は、祈念碑の保存会が行っていた作業でしたが、高齢化が進み大変な重労働であるとの理由から隊友会に依頼があり、支援する

こととなったと聞いています。

姫路海軍航空隊鶉野飛行場跡地は戦争遺跡であり、今日我々が平和に暮らすことが出来る礎を築いてくれた軍人に敬意を表し、二度と戦争を起こさない、また起こさせないための努力を微力ではあるが今後も会員一同で行っていくという決意を祈念碑に誓って作業を終了しました。

事務局長 細貝 寛徳

海軍航空隊鶉野飛行場記念碑での慰霊行事



奉仕作業終了後の参加者による集合写真

